

埼玉県浦和地方庁舎 E S C O 事業に係る E S C O 提案審査の講評について

本事業は、事務庁舎についての E S C O 提案公募であり、省エネルギー設備改修並びに中央監視設備改修及び中央監視業務について、応募者の独自性あるノウハウを生かした提案を広く求めました。

埼玉県における事前の省エネルギー診断では、13.5%の省エネルギー率を見込んでいましたが、過半の応募者の提案は、いずれもこの値を上回る省エネルギー効果が見込まれる内容となっておりました。

これらの E S C O 提案を、埼玉県浦和地方庁舎 E S C O 事業提案審査要領に基づき、提案書さらには応募者によるプレゼンテーションなどに従い、公正かつ客観的に評価しました。

その中で、セントラルリース株式会社・株式会社山武の提案は、高効率吸収式冷温水機及び冷却塔の更新、インバータ制御による機器の高効率運転、給水契約の変更など、広範な手法による独自性あるノウハウにより、最も高い省エネルギー率と大きな光熱水費削減効果が提示され、県の利益総額も最も大きいものでした。

また、株式会社シーエナジー・株式会社テクノ菱和・株式会社石本建築事務所の提案は、高効率吸収式冷温水機の更新、高効率照明器具への改修と昼光利用、全熱交換器のインバータ制御などにより、技術面及び維持・運転管理面に具体性や妥当性があり、全体としてバランスが良く優れたものでした。

その結果、総合評点の最も高いセントラルリース株式会社のグループの提案を最優秀提案とし、次点の株式会社シーエナジーのグループの提案を優秀提案とすることとしました。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重なる御提案をいただいた応募者各位に心からお礼申し上げます。

平成16年3月29日

埼玉県浦和地方庁舎 E S C O 事業提案検討選定会議

委員長	高村淑彦
副委員長	今井大輔
委員	島崎規子
委員	田中伸興
委員	菅原 仁